

早期発見のための新たな選択肢

膵臓がんマーカーセット **NEW**

APOA2 + CA19-9

検査
料金 9,900円(税込)

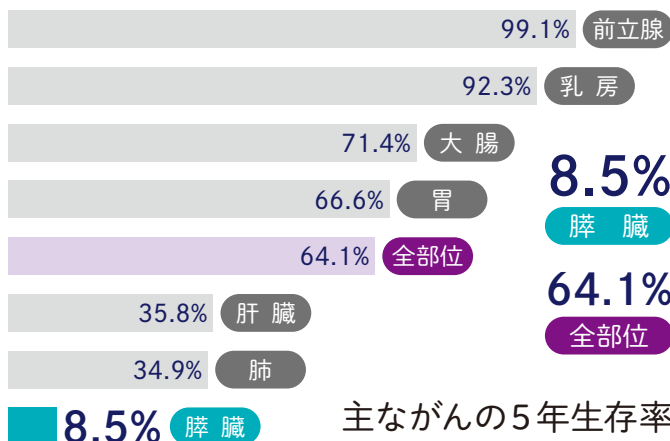
膵臓がん の現状

第3位

がん死亡数

40,000人以上

年間死亡数



主ながんの5年生存率

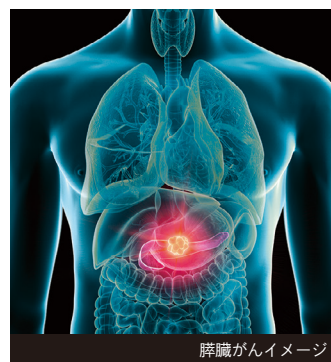
がん死亡数3位の膵臓がんは他のがんに比べて**5年相対生存率が著しく低い**ことが知られています。罹患率は50歳頃から徐々に増え始め、高齢になるほど高くなります。

全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011
年生存率報告(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター, 2020)

膵臓がん の特徴

「5年相対生存率が著しく低い」理由は・・・

- ①膵臓がんの多くは膵管に発生し、そのほとんどが低分化型の「膵管腺がん」で進行が早い
- ②膵臓の近くに重要な血管やリンパ管があるため、血管への浸潤(周囲の組織に広がる)や転移しやすい
- ③初期症状に乏しく進行してから見つかるケースが多い
- ④解剖学的に完全切除が難しく再発リスクが高い



膵臓がんイメージ

新たな 腫瘍 マーカー

最近新たに開発された腫瘍マーカー**APOA2(アポリポ蛋白A2アイソフォーム)**は従来から用いられている**CA19-9**と異なる物質を測定するため、**2つを組み合わせることで初期段階の膵臓がんでも7割を超える感度で判定することができます。**

この検査は膵臓がんの診断補助に用いられるもので本検査の結果のみで膵臓がんの診断はできません。

このような方に
おすすめします

☐ 家族に膵臓がんの方がいる

☐ 喫煙歴がある

☐ 飲酒量が多い



☐ 生活習慣病(糖尿病・肥満)がある

☐ 慢性膵炎などの膵臓疾患の既往がある

☐ 50歳以上である